



Rotary Opens Opportunities

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：佐藤 章夫 幹事：遠藤 正明

地区目標

「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう。

クラブテーマ

Let's Make The Best Better 前へ!

- ◆点鐘：佐藤 章夫 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
- ◆司会：長岡 壽一 副 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2886回例会

令和2年9月7日(月)

会長あいさつ

佐藤 章夫 会長



今年の夏は本当に暑かったですね。昭和8年、7月25日に、山形市で日中の気温が40度8分に跳ね上がりました。これは日本では今まで記録したことがなかった最高気温です。この記録は久しく破られることなく、日本一を誇るものに乏しい我々山形人にとって、思いがけない自慢の種になっていました。が、近年、軽々と40℃を超す土地が日本のあちこちに現れて、山形自慢の40度8分は、あえなく退場となってしまいました。

当時の山形新聞によれば、当日は湿度が低かったために、人々はそれほど暑いとは感じなかったようです。この年の夏は、6月7月と雨が降らず、田んぼにかけられる水がなくなり、土は白く乾き、枯死寸前の状態になりました。水神様に集まって雨乞いをしたり、村が一団となって土地の上流の取り入れ口が上がって行って、水を引こうとしました。しかし、ここの水が枯れかかっているのに、他村に行く水をまとめて村まで引水しようとするものですから、たちまち、村と村の水喧嘩が始まります。

昭和8年、取水口分水騒動というものが起りました。馬見ヶ崎川用水の南半分を要する笹堰水利組合と、御殿堰・八ヶ郷堰組合の農民、双方併せて3,000人が殺気立って河原に集結して乱闘騒ぎになりました。山形署から、50余名の警察官が駆けつけましたが、なすすべなく、土手で眺めるだけだったと山形新聞は伝えております。

ところが、秋には豊作でした。稲自体が水分を求めて、固い地盤を突き破って、下へ下へと根を伸ばしていくからです。たくましい生命力です。「日照りに不作なし」と言われるゆえんです。平成5年は記録に残る大冷害でした。夏に冷たい雨が降り続いて、9月になっても1本の穂も出ません。私は当時、農協の理事をしておりましたので、現場を見に行きました。稲は青く、風に吹かれるとサワサワと葉が鳴り、まるで地獄の風が吹くようで、背筋が寒くなったのを覚えております。ところが、9月のある日、半日だけ、太陽が顔を出し、気温が上がったときがありました。稲は一斉に受粉しました。秋には10アールあたり、9俵とれました。その年の稲が愛しくてたまりませんでした。

作物を育てるには、気象の変動をしっかりと観察し、予測し、対応することだと私の年代は教えられてきました。栽培施設が大幅に取り入れられ、人工気象が可能になった今でも、この教えは生きております。

作物を育てるには、気象の変動をしっかりと観察し、予測し、対応することだと私の年代は教えられてきました。栽培施設が大幅に取り入れられ、人工気象が可能になった今でも、この教えは生きております。

幹事報告

遠藤 正明 幹事

- 米山奨学生のチャン・ダン君に、第1例会で奨学金を渡す手はずなんですが、今日は就職説明会で山形を離れておりますので、次回、お見えいただいたときにお渡しいたします。
- この例会終了後、第3回の理事会を開催いたしますので、理事会構成メンバーの方はお残りいただきますようお願いいたします。
- 今月のロータリーレートは106円です。

委員会報告

親睦・家族委員会

伊庭公也 委員

会員の方が9名、奥様が12名、9月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

会計報告

芦野 茂 前会計

前年度の決算の報告を行わせていただきます。なおこの度は、大きい数字だけを発表させていただきますが、詳細な決算報告につきましては、クラブ細則第4条5節に則り、12月の年次総会時に発表させていただきます。

一般会計について。収入合計2,655万9,250円に対し、支出合計2,470万2,650円。差引額185万6,600円は今年度に繰り越しております。なお、コロナウイルス拡大により、中止になりました例会の代わりとして、クラブ会員企業で使用できる応援券を発行しましたが、こちらの支出は102万円となりました。

特別会計について。収入合計について、236万3,701円に対し、支出合計161万4,700円。差引額74万9,001円は奉仕プロジェクト基金に繰り出しております。なお、特別会計からは、山形市への寄付金、北九州豪雨災害支援金、マスクケース支援金として65万円を支出しております。

基金会計について。一般会計から新入会員入会金と、周年事業積立金として、128万円繰り出しております。現時点での積立金は1,025万1,070円となっております。以上、ご報告いたします。

委員会方針説明



クラブ広報常任委員方針

浦山 潔 理事

今年度、クラブ広報常任委員長を仰せつかりました浦山でございます。当委員会は長岡勲委員長率います会報委員会、原田委員長の広報雑誌委員会、鈴木隆一委員長の資料管理委員会の3つの委員会で構成されまして、山形西クラブの活動を正確に記録として残すこと、その活動の内容をクラブの内外に発信しアピールし広く知っていただくこと、クラブ内の親睦を促すことが主たる目的であると思います。

当委員会は、山形西ロータリークラブの活動を下からしっかりサポートし、山形西ロータリークラブの70周年に向けました、歴史をつづる大切な委員会でございます。会員の皆さまのご協力を得て、1年間楽しく、よろしく願いいたします。



会報委員方針

長岡 勲 委員長

会報委員会の委員長を仰せつかりました長岡です。

会長からは、ビジュアル感覚で訴えてとにかく読みやすく楽しい紙面にしろという指示を受けておりますが、ただ単に写真集にならないような配慮をしながら、バランスのいい紙面づくりにしていきたいなと思っております。

また、今年度は会長、理事会のほうから特別な指示を1ついただいております。それはコロナ禍の中で、どのような工夫をしながら配慮をしてクラブ運営、例会運営を行ったかを、後で見分けるように記しておきなさいという指示でございます。どのように苦労して飲んだかも含めまして、記しておけということのようでございます。1番最後に「3密コーナー」というコーナーを作りまして、対応していきたいなと思っておりますので、もし話題があれば提供のほどよろしくお願いしたいと思います。よろしく願います。



広報雑誌委員方針

原田 久雄 委員長

今年度、広報雑誌委員会の委員長を仰せつかりました原田久雄と申します。私を含めて3人でございます。少数人数でございますが、1年間連絡密にしながら頑張っていくしますので、どうぞよろしくお願い致します。

当年度の方針でございますが、佐藤会長の方針に則り、山形西ロータリークラブの活動を広く世間に認知していただくように、委員会ならびに会員の皆さまに協力を頂戴しながら委員会活動を行ってまいります。

まず第一に『ロータリーの友』の記事の紹介ならびに記事の投稿。それからもう一つ、メディアの活用ということで、我がクラブには、メディアの関係者の会員の方が数名いらっしゃいますので、ロータリー活動や、いいニュース等をですね、取り上げていただけるようお願いしたいと思います。1年間どうぞよろしくお願い致します。



史料管理委員方針

鈴木 隆一 委員長

皆さんこんにちは。私ども史料管理委員会の今年度の活動計画ですが、1、2019～20年度委員会との引き継ぎおよび課題の確認。2、クラブ創立70周年に向けての資料の整理、保存。70周年とは2026年～27年の年度ですので、あと6年あるわけですが、それに向けての会報の保存、会報に掲載されない情報の保存、そしてこれまでの整理保存の内容と方法の確認という内容です。3、2021～22年度、来年度の委員会との引き継ぎということで、活動計画を決めました。

10年に1度発刊されます周年の記念誌、これに毎年の史料管理委員会の努力が、結実していくということになっています。記念誌ですが、印刷をしていただいた小松印刷さんに、60周年記念誌が80冊、50周年記念誌は56冊、在庫があるそうです。これらを死蔵することなく、新入会員の方を中心に、配布をしていってはどうかというふうに考えております。

私は周年誌をしっかり読むことを心掛けてまいりたいと、そのように思います。いくら情報を集めても、それがこういう形に集約されなければいけないし、集約したところで読んでいただかなければ意味がないと、価値が半減してしまうと思っておりますので、ぜひ皆さんも、どこかにしまい込んだこの周年誌を引っ張り出して、ちょっと読んでいただくと、ああ面白いということになるかと思っております。私からの提案でございます。



職業奉仕常任委員方針

安部 弘行 理事

一昨年の、私委員長の際は遠藤商事さんの野菜工場を拝見させていただきまして、昨年は西口のやまぎんホール、さあ今年はどこになるか、委員長よろしくお願いしたいと思います。

また職業交流につきましては、今月の27日の案内を送っておりますが、コロナの影響もありますけれども、できる限りやってみようと思っております。職業奉仕では奉仕の心を、職業交流では友情を、ぜひ皆さまと分かち合いたいと思っておりますので、今年1年よろしくお願い致します。



職業奉仕委員方針

佐藤 啓 委員長

職業奉仕委員会は移動例会を担当させていただきまず。時期は、3月を計画しております。今考えているのは、ウィズコロナ、そしてアフターコロナというのを考えた時に、デジタル化、デジタルトランスフォーメーション、DXというふうに使われておりますので、そういったものを活用しながら、社会の課題であるとか地球規模の課題なんかを解決するような、そんな取り組みを見学できるようなものがないのかなというふうに思っております。

具体的には、リアルな例会をウェブで配信できるような例会ができれば面白いかななんて思っています。5G、VRもありますし、1Rなんてのもありますし、スマートシティとかスマートハウスとか、スマートオフィス、そういったものを、一堂に1つの会場でいろんなものを体験できるような、そんな例会ができれば、なんて考えておりますので。

まだ今構想段階でありますけども、皆さんからも、こんなのあるよ、なんてお知恵をいただければ、ぜひ反映をさせて膨らませていきたいという思っておりますので、よろしくお願いをいたします。



職業交流委員方針

橋本 徳光 委員長

先般、皆さまにFAXにてご案内をさせていただきましたけれども、まずは今月の27日日曜日に、西クラブ球風会の秋季大会と。来月10月11日日曜日、第46回市内7クラブ親善ゴルフコンペということで、現状コロナ禍ではございますが、万全の対策を講じて開催を予定しております。皆さまのたくさんのご参加をお待ち申し上げております。

また、以後の活動に関しましては、来年2月から3月については西風会を予定しております、日程につきましては調整をさせていただき、後日ご案内をさせていただきます。来年、令和3年4月18日日曜日になります。西クラブ球風会、春季大会、ゴルフコンペを山形蔵王カントリークラブにおいて開催を予定しております。

また、引き続き写楽クラブ等の企画・運営に関しましては協力サポートをさせていただきたいと存じております。どうぞ1年間よろしくお願い申し上げます。



奉仕プロジェクト常任委員方針

遠藤 靖彦 理事

当グループは社会奉仕委員会、ニコニコボックス委員会、青少年委員会、3つの委員会で構成されております。

佐藤会長の思いのあります市民社会の役に立つ社会奉

仕事業の検討、実行を行って参ります。また、青少年委員会においては、留学生の受け入れ対応を含め、山形大学との連携、そして西ロータリーの青少年育成事業を進めてまいります。

このような奉仕活動の大きな財源となるのがニコニコボックスです。今まで1回もしたことない方も多分いらっしゃると思います。ぜひ年に3回ぐらいいはニコニコしていただくとありがたいなと思っております。

ロータリー活動の大きな意義であります奉仕活動を3つの委員会の連携のもと1年間推進してまいりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



社会奉仕委員方針

角田 健 委員

社会奉仕、元気なロータリー活動の実践ということで、恒例となっております市内の清掃ボランティアですが、今年度も計画しておりますので、今回は子どもたちと共同で行うということになっております。またご案内させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それから国際ボランティア団体の奉仕例会を予定いたしております。

それからもう一つ、山形市の猫の不妊・去勢手術補助金交付事業というのを担当させていただいております。来週、第2例会でゲスト卓話といたしまして山形市動物愛護センターのヤハギさんをお迎えしますので、こちらのほうにも皆さんご参加のほどよろしくお願いいたします。



ニコニコボックス委員方針

西谷 真一 委員長

ニコニコボックスの今年度の目標額は100万円。8月現在の達成金額が、おかげさまで13万6千円いただいております。この調子でいきますと念願の目標達成できるんじゃないかなと感じておりますので、引き続き皆さんよろしくお願いしたいと思います。

それと、ニコニコボックスの発表の仕方を、少し臨機応変にしたいなと思っております、委員会からのご披露のほかに、例えばご自分で、肉声でアナウンスしたいなという方はお申し出いただければ随時行っていきたいなと思っておりますので、ひとつよろしくお願いいたします。

もちろん事務局のFAXでも受け付けておりますし、メールでも受け付けておりますし、月曜日の午前中は私、委員長の西谷が机でニコニコボックスの用紙を置いて待ち構えておりますので、どうぞ携帯鳴らしていただければと思いますので、ひとつよろしくお願い申し上げます。



青少年委員方針

後藤 章洋 委員長

次世代を担う青少年の育成・支援を目的といたしまして、3つを柱として活動させていただきたいと存じます。

1番目、山形市中高生英語弁論大会の支援の継続。こちら、コロナの影響で中止となってしまいました。大変残念ではございますが、ご理解をいただければと存じます。

2番目、山形大学の若手研究者への支援。これは一時中断しておりましたが、会長のほうで再度やってみてはどうかというお話がありましたので、遠藤理事とも相談をしながら、あとは大学の担当者の方とも相談をしながら、どんな形が1番ベストな支援なのかというところを検討させていただきながら適時進めてまいりたいと存じます。

3番目、米山奨学生を定例会や各イベントへ招待し、会員との交流機会をたくさん創出しなさいということですので、今年度、チャン・ダンくんが山形西ロータリークラブでサポートしているわけですが、ダンくんにも、なるべく多く皆さんと共にですね、交流機会を増やせるようにがんばってまいりたいと思っておりますので、ぜひ仲良くしてあげてください。

状況が見えないところもございますが、都度調整しながらやっていきたいと存じますので、ぜひご理解とご協力を賜ればと存じます。よろしくお願いいたします。



ロータリー財団委員方針

東海林 仁 委員長

本年も目標であります1人150ドル、またはそれ以上のご寄付を皆さまにお願い申し上げたいと思います。

また、11月9日に講師例会を予定しておりますので、ロータリー財団へのご理解とご協力のほどをさらによりしくお願い申し上げます。



米山奨学会委員方針

芦野 茂 委員長

米山奨学会の財源は会員の皆さまからの寄付によって支えられております。また、今年度は米山奨学生の世話クラブとして、後藤章洋さまより、たっの希望でカウンセラーを引き受けていただいております。ことカウンセラーには、毎月第1例会でダンくんを米沢まで迎えに行き、例会場まで連れて来てお金を渡すという運びになっております。

今後の活動としては、2点になります。まずは年間1人15,000円、うち特別寄付10,000円を目標として寄付をお願いいたします。2点目は、米山奨学会の趣旨をご理解いただくため、10月の米山月間におきましては米山奨学生よりゲストをお招きして例会の卓話をさせていただき予定となっております。

今年度も引き続き地区の米山委員会に出向しております。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



ロータリー財団・米山奨学会常任委員方針

戸田 正宏 理事

皆さんはロータリー財団や米山奨学会は私たち1人1人の善意でなっていることはご承知のとおりと思います。この委員会は、本当に皆さま方のご理解・ご協力がなければ成り立たないことと存じます。

今日のロータリーレートは、1ドル106円です。財団のほうは10,600円、米山のほうは10,000円、合計20,600円をですね、コセキさんのところでホイっとお持ちすれば、非常に爽やかな気分になるのではないかなと思っております。

ロータリー活動は楽しく、寄付行為は喜んで、ということで、ひとつ皆さんのご協力をお願い申し上げます。

ニコニコBOX

〈9月7日〉

佐藤章夫会長／戸田句集、宥座の器（ゆうざのき）

戸田正宏（とだせいこう：俳号）会員の句集発刊お祝い申し上げます。今後もご精進あって、山形県俳句会のリーダーになって下さい。

三浦達雄さん／コロナ禍、Gotoトラベルも盛り上がりず。近場旅行のヒントを探しに“ぐっと山形”に行くと、白髪の血色の良い方を発見。我がクラブの戸田さんでした。ご挨拶すると『大変だな、頑張ってるね』と、そして良かったらと渡された俳句集。著書は俳人、戸田正宏様。これから、秋の夜長、心を癒されそうで、この1冊の俳句集にニコニコします。

浦山潔さん／クラブ広報常任委員長として、1年間3委員会の活動を下から支えたいと思います。よろしく皆様方のご協力をお願いします。

本日出席（9／7）	会員総数	出席会員数
	97名	69名